

はじめに

新型コロナウイルス感染の拡大が日々の生活、そして大学生活に大きな影響を及ぼすようになってから、1年が過ぎました。国際教育センター105（交流・相談室：通称105）においても、ちょうど昨年今頃、OBを交えた花見交流会や、いくつかのミニイベントの開催を見送り、それ以降そのまま対面の活動は一切行えない状況になりました。一月遅れで始まった春学期、授業はすべてオンラインに切り替わり、キャンパスに学生達の姿はなく、国際教育センターも静まりかえり、まるで時間が止まったかのようでした。学生達も互いに会うことができなく、もどかしく不安な思いに駆られたことと思います。しかし、そんな状況の中で、従来の留学生支援や交流の活動に変えて、105で何かできることはないかと学生スタッフ達が、知恵を絞り、工夫をこらして様々な活動に取り組んだのがこの1年でした。

105の学生達は、オンラインでのミーティングや、ネット上のツールなどを活用して様々なアイデアを出し合い、新たな活動に幅広く着手してきました。実践を重ねていく中で、オンラインでの活動への手応えや、これまでと違った活動の広がりや可能性を感じたようです。

詳細はこの冊子をご覧いただきたいと思いますが、例えば、帰国中の留学生や、母国に帰った学生を巻き込んだイベントの開催、また、遠く離れた他大学の留学生サポートグループとの交流など、オンラインであるからこそ実現できたこともあります。留学生に向けての動画の作成と発信も新しい試みの一つでした。LINEでの日本語相談アカウントもオンライン留学生アンケートの結果を受けて設置されたものです。

この一年、学生達自身もオンラインという新しい形態の授業に苦勞することがあったと思いますが、一方でこのように105の活動に意欲的に取り組んでくれたことを大変頼もしく感じました。

例年は年2回のアステージキャンプ（交流合宿）の報告を中心に、その年の活動を記録する報告書を発行していましたが、本年はそれに変えて、コロナ下での105の活動を報告書にまとめることに致しました。今後の105の活動にも、それらを色々な形で生かし、発展させていけるのではないかと思います。

いまだに、この先のことが見えない状況にあり、しばらくは元のような対面の活動を行うことは難しいかもしれません。まだまだ試行錯誤が続くことになるとは思いますが、今年度の活動をまとめたこの冊子が、学内での105の活動に対する認知の広がりや、さらなるご理解にも繋がることを願っております。

国際戦略推進機構企画推進部門 アドバイジング担当
105運営担当教員 藤井桂子

2020 年度の主な開催イベントおよび活動報告

文責：R. Funaiwa

【2020 年度の活動について】

新型コロナウイルス感染拡大の影響で授業はオンライン形態となり、大学に通学することもままならない状況になりました。この未曾有の事態によって従来のようなイベントは開催できなくなり、留学生と気軽に交流することが難しくなりました。しかしこの状況下でも試行錯誤をしながら、留学生の支援をするために様々な活動を行いました。

【2020 年度春の体制】

春学期は、新入生の大幅な増加により、会計部、広報部、人事部、開発部、ミニイベント部、書記部の六つの部局体制で活動しました。昨年度と比べて組織数が細分化したことにより生じた部局間における透明化の難化を解決すべく、日々メンバー内の円滑なコミュニケーション、また 2 回生からのサポートを充実させました。部局ごとに目標を掲げて、責任感を持って務めました。

室長	Yoshihiro Morihara	
副室長	Momoko Hakamada	
会計部	Daisuke Kodama (部局長)	Yuta Morijiri
	Ryuichi Hirakawa	Kota Nakamura
	Motoya Katsumata	Riho Funaiwa
広報部	Takuro Sakashita (部局長)	Daisuke Osako
	Truong Than Hngan Ha	Maiko Tana
	Aoi Yawatari	Jiaao Wang
	Nurul Ain Hamizah Binti Hasmi	Haruki Asada
	Hiroki Sato	Jisu Park
人事部	Kaya Minagawa (部局長)	Ui Iwasaki
	Junya Watanabe	Yuka Hara
開発部	Saki Nakanishi (部局長)	Kotori Matsushita
	Mizuki Miyama	Yuna Miyake
	Le Nguyen Anh Quan	
ミニイベント部	Tomohiro Iwashita (部局長)	Arai Takasawa
	Bui Viet Thien Thu	Minami Asahara
	Tomomichi Yoshimura	Itsuki Sato
	Hyunju Ryu	Airi Maki
書記部	Miyaka Iriyama (部局長)	Maki Takayanagi
	Koh Nakamura	Masanari Nonaka

【2020 年度秋の体制】

秋学期はコロナウイルス感染拡大の影響もあり、オンラインミニイベントチーム、SNS チーム、うらかたチーム、動画作成チーム、校正チーム、仲よしチームの 6 つのチーム体制で活動しました。前学期と同様に組織の透明化を図ると同時に、日々メンバー内の円滑なコミュニケーションにより、留学生への充実したサポートの提供に努めました。チームごとに目標を掲げ、責任感を持って活動しました。

室長	Motoya Katsumata	
副室長	Riho Funaiwa	
オンライン ミニイベントチーム	Tomomichi Yoshimura (チーム長)	Kotori Matsushita
	Minami Asahara	Mizuki Miyama
	Takara Fukabori	Yuka Sugano
	Mayu Yoshikawa	Kanon Takemura
	Rei Tanabe	Kazuma Nishijima
SNS チーム	Haruki Asada (チーム長)	Maiko Tana
	Hyunju Ryu	Aoi Yawatari
	Jisu Park	Yusuke Isogai
うらかたチーム	Yuka Hara (チーム長)	Masanari Nonaka
	Koh Nakamura	Le Nguyen Anh Quan
	Ayaka Hori	Chichi U
動画作成チーム	Ryuichi Hirakawa (チーム長)	Airi Maki
	Itsuki Sato	Motoya Katsumata
	Jiaao Wang	
校正チーム	Nurul Ain Hamizah Binti Hasmi (チーム長)	Riho Funaiwa
仲よしチーム	Yosei Goda (チーム長)	Yuichiro Yokono
	Kota Nakamura	Yuna Miyake
	Maki Matsumoto	

各チームの活動内容は以下の通りです。

- ・ オンラインミニイベントチームは、定期的にミニイベントを開催し、留学生と直接的に交流を図ります。留学生がまた参加したいと思えるような企画作りや、留学生との言語交流の場を提供することを目標として活動しています。
- ・ SNS チームは、オンラインで開催されるイベントをインスタグラムで宣伝したり、政府や大学からの重要な情報をインスタグラムで共有したりします。また、行ったオンラインイベントの様子をホームページやフェイスブックに投稿し、活動の報告をします。留学生のニーズを把握し、それに合った情報を提供することを目指します。

- ・ うらかたチームは、人事・書記・情報整理の3つの仕事を担います。新スタッフ対応などのスタッフの管理、ミーティングでの議事録の作成や、留学生の要望をアンケートで調査して留学生支援に役に立つような情報の収集を行います。105が円滑に活動できることを目標として活動していきます。
- ・ 動画作成チームは、Instagramに投稿する動画を撮影・編集します。日本にいる留学生に向けてだけではなく、新型コロナウイルス感染拡大により来日できなくなってしまった留学生に向けても、日本文化の紹介や横浜国立大学の紹介をします。留学生に興味を持ってもらえるような動画づくりを目指します。
- ・ 校正チームは、105がInstagramやホームページなどに投稿する英文を添削し、より洗練された英文に校正します。スタッフが投稿したい文章の英訳の負担を軽減し、スタッフが効率的に仕事を行えるようにします。日本人も留学生も理解しやすいような文章を投稿することを心がけます。
- ・ 仲良しチームは、105の公式LINEやInstagramなどを活用して留学生と個人的に向き合い、一人一人のニーズに合わせた支援を行います。また、留学生と個人的につながることができるようなシステムである「YNUバーチャルプロジェクト」を企画しています。日本人学生と留学生を結ぶ橋づくりを目標としています。

【年間行事スケジュール】

- 6月 福岡大学合同イベント
- 8月 東京外国語大学 くらふと 合同イベント
- 10月 オンラインウェルカムパーティー
- 11月 Online Quiz & Talk Night
- 12月 オンラインクリスマスパーティー

【新しく始めた試み】

- ・ Instagramにおける動画投稿
- ・ Instagramにおけるライブ配信
- ・ Instagramにおける履修相談
- ・ Instagramでのお役立ち情報の発信
- ・ LINE公式アカウントの開設と運営
- ・ ホームページ上のスタッフ日記
- ・ YNUバーチャルプロジェクト
- ・ 過去に在籍していた留学生へのインタビュー
- ・ 留学生へのアンケート

2020年6月 福岡大学合同イベント

開催日:2020年6月28日 14:00-16:00

参加人数:約50名(留学生15名、日本人学生35名)

【タイムスケジュール】

14:00-14:10 各団体の紹介

14:10-14:30 アイスブレイキング

14:30-15:40 心理ゲーム

15:40-16:00 終わりの言葉、アンケート

【概要】

福岡友情ネットワークの「ふく友プロジェクト」と、一度お互いの団体の活動について話し合う機会があり、一緒にイベントを行おうと声をかけていただき、ふく友プロジェクト主催の合同イベントを行いました。心理ゲームを行い、異文化理解を深める体験ができました。ふく友プロジェクトは、わが105のように留学生支援をしている団体であり、コロナ下での活動方針を改めて見直すような良い機会となりました。



2020年8月 東京外国語大学「くらふと」合同イベント

開催日:2020年8月4日 20:00-21:00

参加人数:約20名

【タイムスケジュール】

20:00-20:05 団体紹介

20:05-20:20 ブレイクアウトルームでアイスブレイキング

20:20-20:40 クイズ大会

20:40-21:00 トークタイム

21:00 クイズの得点結果発表、終わりの言葉

【概要】

東京外国語大学の国際理解教育サークル「くらふと」と合同でイベントを行いました。「くらふと」は、小学生～高校生を対象に、ワークショップ形式の国際理解教育を企画し、実施するサークルです。普段は小中高生を対象に活動していますが、今回はお互いの大学の留学生を対象にした合同イベントを行いました。世界の文化についてクイズとトークを行い、様々な留学生と交流することができました。



10月 オンラインウェルカムパーティー ※詳細は17～23ページ

開催日:2020年10月18日 20:00-22:00

参加人数:59名(留学生36名、105スタッフ23名)

【タイムスケジュール】

20:00-20:10 イベントの流れおよび105団体説明

20:10-20:40 ジェスチャーゲーム

20:45-21:50 ピクトセンス

21:50-22:00 結果発表、閉会の言葉

【概要】

従来行っていたウェルカムパーティーのようなものをオンラインで行う初めての試みでした。36名もの留学生が参加してくれて、無事にイベントを成功させることができました。オンラインであっても留学生はイベントに参加してくれることがわかり、今後のオンラインイベントを前向きに企画する第一歩となりました。



11月 オンラインクイズ&トークナイト

開催日:2020年11月18日 20:00-21:30

参加人数:17名 (留学生 11名、105スタッフ 6名)

【タイムスケジュール】

20:00-20:10 イベントの流れおよび 105 団体説明

20:10-20:40 クイズ大会

20:45-21:15 トークタイム

21:20-21:30 閉会の言葉

【概要】

前回のオンラインウェルカムパーティー開催を踏まえて、留学生にとって交流機会は貴重であるということが分かったため、クイズやトークができるようなイベントを企画しました。日本の文化やマナーについてのクイズを行い、日本文化への理解を深める機会を設け、そしてトークタイムをとることで交流を深めました。



12月 オンラインクリスマスパーティー ※詳細は 24～29 ページ

開催日:2020年12月22日 20:00-22:00

参加人数:22名 (留学生13名、105スタッフ9名)

【タイムスケジュール】

20:00-20:10 イベントの流れおよび105団体説明

20:10-20:40 イントロクイズ

20:45-21:45 ビンゴ大会

21:50-22:00 閉会の言葉

【概要】

クリスマス時期だったので、年内最後となるクリスマスイベントを行いました。13名もの留学生が参加してくれて、ブレイクアウトルームを用いて様々なトークをすることができました。全体で行ったビンゴ大会では大きく盛り上がり、楽しいイベントを作り上げることができました。



インスタグラムにおける動画投稿

105の動画作成チームに所属するメンバーが、留学生も楽しめるようなさまざまな内容の動画を作成・編集し、当団体のインスタグラムに投稿しました。その内容は多岐にわたり、自粛期間中はおうち時間の過ごし方など、授業が始まってからはキャンパスツアーなどの動画を投稿し、留学生にとってためになるような動画作成に勤めました。

【投稿動画一覧】

- ・ 味噌汁の作り方
- ・ 105 筋肉教室
- ・ ギター動画
- ・ ドレスオムライスの作り方
- ・ 白玉団子の作り方
- ・ 学生支援緊急給付金の申請方法
- ・ 楽器でアンサンブル
- ・ 肉じゃがの作り方
- ・ お団子の紹介
- ・ おいしいラーメンの食べ方
- ・ 焼き芋の作り方
- ・ YNU キャンパスツアー
- ・ 横浜のきれいなイルミネーションの紹介
- ・ 大みそかの除夜の鐘の紹介
- ・ 節分の紹介



Instagramにおけるライブ配信

当団体のメンバーが、Instagramのライブ配信機能を用いて、留学生と交流をしました。昼休みの1時間に、当団体のInstagramでライブ配信をして、Instagramのアカウントを持っている留学生とオンラインで通話しました。数名の留学生が参加してくれて、日本語で会話をし、楽しく交流できました。

Instagramにおける履修相談

当団体のメンバーが、Instagramのダイレクトメッセージ機能を用いて留学生の履修相談を行いました。特に、履修組みに困っている学部留学生を手助けする目的で始めました。スタッフが個人的に情報収集をして留学生におすすめの授業をまとめて、紹介しました。

Instagramにおけるお役立ち情報の発信

スタッフが運営している公式Instagramで、新型コロナウイルスに関連する様々な情報を発信しました。新型コロナウイルス感染拡大によって食事に困っている人たちが利用できる「コロワイド食堂」の紹介や、学生支援緊急給付金の申請方法の紹介など、留学生にとって役に立つような情報の配信を重要視しました。

LINE 公式アカウントの開設と運営

当団体のメンバーが、105のLINE公式アカウントを設立しました。日本では、コミュニケーションツールとしてLINEが広く用いられています。105のLINE公式アカウントを設立することで、授業で分からないことを聞きたい留学生や、日本語の課題を手伝ってほしい留学生を手助けすることが可能になります。このアカウントによって、留学生に1対1で対応することができ、留学生支援を行うことができました。

ホームページ上のスタッフ日記

105 の SNS チームに所属するメンバーや、有志で募集した当団体のメンバーがホームページ上にスタッフブログを投稿しました。ブログを閲覧した人がコメントを投稿できるようになっており、良いコメントをもらえることもありました。これによって、ホームページを閲覧する人が増え、105 のメンバーをより身近に感じてもらえるようになりました。

【投稿内容一覧】

- ・ I got a driver's license! (T. Sakashita)
- ・ Coffee (U. Iwasaki)
- ・ Exercising (A. Yawatari)
- ・ ~わたしのおうち時間~ (M. Iriyama)
- ・ Let's take action immediately when coming up with something. (M. Takayanagi)
- ・ おうち時間の過ごし方 (Y. Miyake)
- ・ おうち時間の過ごし方 (M. Asahara)
- ・ My dog (Y. Goda)

YNU バーチャルプロジェクトの発足

当団体の仲良しチームに所属するメンバーが、「YVP (YNU Virtual Project)」を発足しました。YVP とは、このプロジェクトに参加した留学生それぞれに 105 スタッフのパートナーが割り当てられて、二人一組で交流できる無料のオンラインプログラムです。異文化体験や日本語を話す練習、日本語検定の勉強をすることもできます。留学生の参加者の募集をインスタグラムで行い、現時点で計 8 名の留学生が参加を希望しました。また、105 のスタッフの参加者も同時期に募集し、2 月中旬で参加者の募集を締め切りました。2021 年 1 月から 5 月までこのプロジェクトを行います。留学生と 1 対 1 で交流することができる画期的なプロジェクトです。

過去に在籍した留学生へのインタビュー

2018 年秋から 1 年間、横浜国立大学に留学していた台湾の大学の学生と、オンラインで座談会を開催しました。留学時代の思い出や近況についてなどをお話することができました。この座談会によって、YNUを離れた留学生とのつながりを強化することができました。



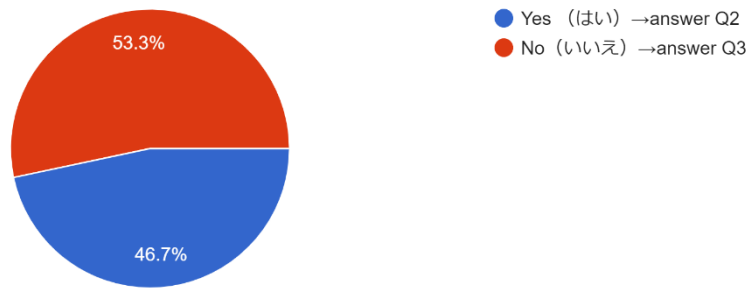
留学生へのアンケート

留学生がどんなことに困っているのかを知るために、留学生に向けてオンラインアンケートを行いました。このアンケート結果によって当団体の活動を見直し、より留学生の役に立てるような団体となることを目指しました。

【2020 春アンケート】

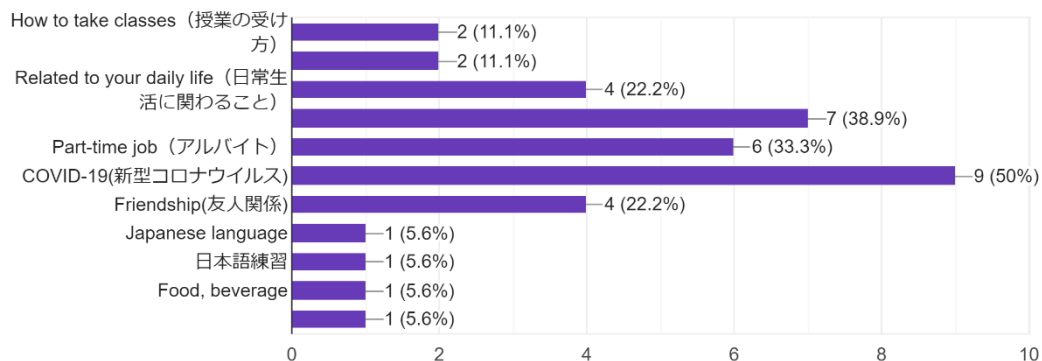
Do you have any troubles now? 今困っていることはありますか？

30 responses



What is your trouble about? 何について困っていますか？

18 responses



■ Let us know about these troubles in detail so we can help you!

良い支援ができるように、上記の質問について詳しく教えてください！

- ・ I need a dedicated tutor who can assist me.
- ・ I am in stressful condition due to family, research and study, covid19.
- ・ 日本語支援

- ・ 日本に行くことができない。
- ・ できるだけ学校からの支援を受けたいです。
- ・ 日本人の日本語の練習のパートナーがいればよかったです。
- ・ 日本の方と友達になれるかどうかがちょっと怖いです。
- ・ 1) class: online is difficult to understand and sometimes internet has the problem.
- 2) feel boring even if I have a lot of classes and friends
- 3) I cannot send my money to parents as much as the previous time and my parents also suffered from the coronavirus in my hometown
- 4) I need to relax but I'm afraid to go outside
- 5) the price for food and beverage is high and some restaurants close
- ・ 秋学期とかはどうなるのか気になります。

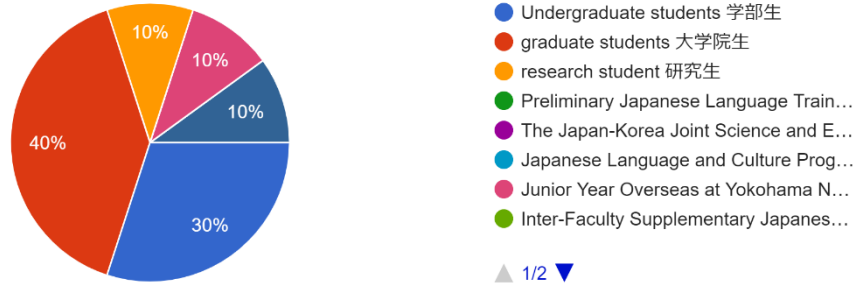
■ Do you have any request to us? わたしたちにしてほしいことはありますか？

- ・ Please make mental health improvement sessions
- ・ 日本語コミュニケーション
- ・ Could you please translate the class items and LMS content (especially pdf)？
- ・ インスタの投稿は、和食の投稿を増やしていただければ嬉しいです。

【2020 秋アンケート】

What major are you in? 所属プログラムは何ですか？

10 responses



■ What kind of video would you like us to make? どんな動画をもっと作ってほしいですか？

- ・ 先生たちのインタビュー
- ・ Videos related to Japanese and international students daily life
- ・ Japanese traditions
- ・ tourist spots of Kanagawa
- ・ 料理動画や日本の任天堂とかパソコンゲーム紹介など
- ・ Videos to do basic but mandatory stuff, like trash separating or how to order delivery grocery, etc.
- ・ 留学生にとって役に立つ、または影響のあるトピック: 日本の社会や政治や文化のこと

■ What event would you like us to do? どんなイベントを開いてほしいですか？

- ・ Cooking
- ・ 弓道
- ・ tourism, Japanese hosting, family days...
- ・ 料理イベント、ポーリングコンテスト
- ・ 留学生の問題を自由にシェアすることができるアクティビティ

■ Do you have any troubles right now? What is your trouble about?

今困っていることはありますか？何について困っていますか？

- ・ Friday praying postponed, would be better to re-run the event in COOP building (Muslim)
- ・ お金がないことがずっと困っています。
- ・ Currently planning to go to Japan but I still need some help regarding my arrival procedure.

オンラインウェルカムパーティー開催報告

文責: T. Yoshimura



日時: 2020年10月18日 20:00-22:00

場所: Zoom

参加人数: 59名(留学生:36名 一般学生:23名)

【当日までのスケジュール】

10月12日 リハーサル兼ミーティング

【当日のスケジュール】

20:00-20:10 イベントの流れおよび105団体説明

20:10-20:40 ジェスチャーゲーム

20:45-21:50 ピクトセンス

21:50-22:00 結果発表、閉会の言葉

参加留学生出身国一覧			
1	インドネシア	11	ベトナム
2	中国	12	フィリピン
3	アフガニスタン	13	フィリピン
4	モンゴル	14	スリランカ
5	フィリピン	15	ブラジル
6	スリランカ	16	フィリピン
7	中国	17	ケニア
8	オマーン	18	インド
9	インドネシア	19	ミャンマー
10	中国	20	中国

計 20 名 ※出身国不明 16 名

105 スタッフ		
Tomomichi Yoshimura	Motoya Katsumata	Riho Funaiwa
Yuna Miyake	Itsuki Sato	Yuichiro Yokono
Kota Nakamura	Nurul Ain Hamizah binti Hasmi	Airi Maki
Minami Asahara	Maiko Tana	Takara Fukabori
Ryuichi Hirakawa	Kotori Matsushita	Jiaao Wang
Yuka Sugano	Maki Matsumoto	Kazuma Nishijima
Kota Katagiri	Kanon Takemura	Mayu Yoshikawa
Chichi U	Yusuke Isogai	

計 23 名

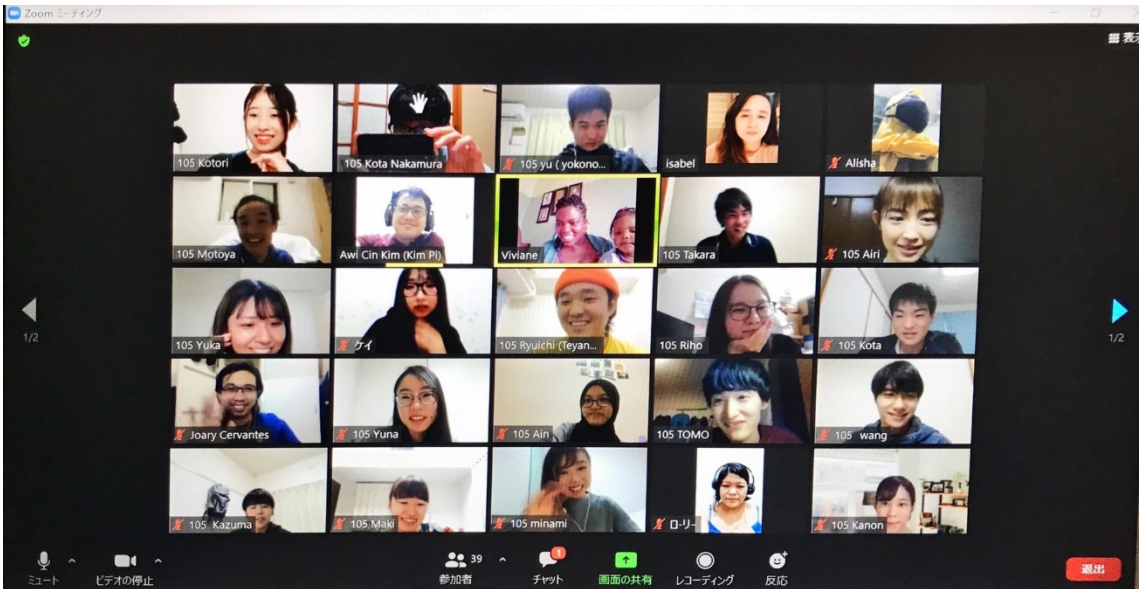
【イベントの目的】

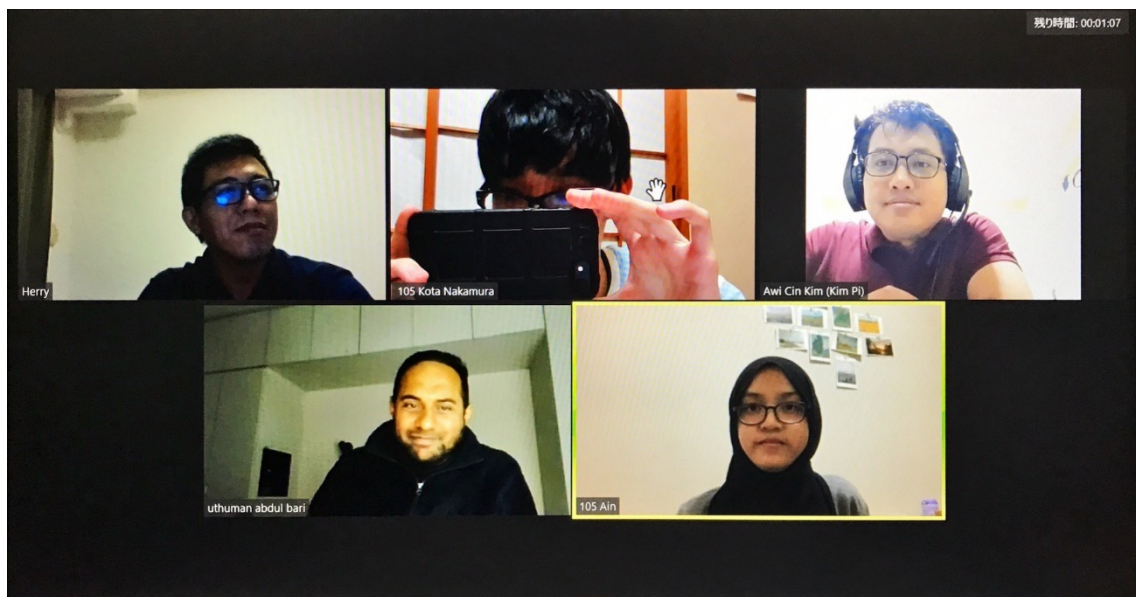
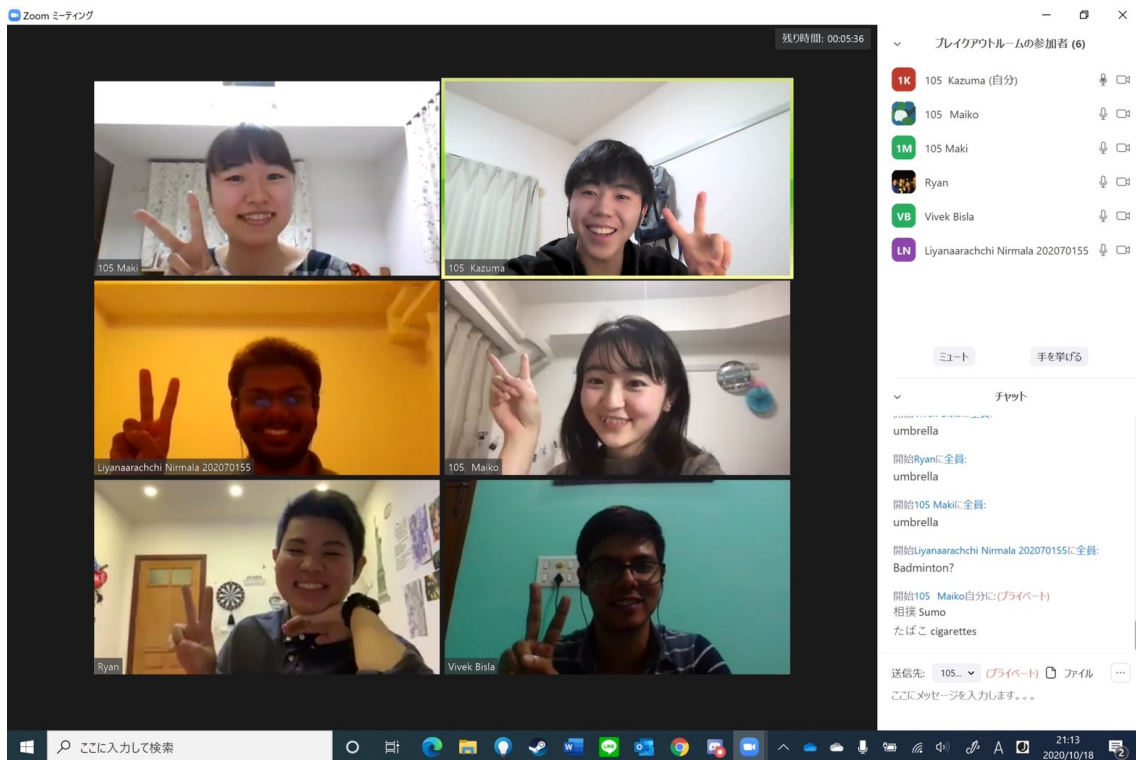
新しい留学生の日本人や他の留学生との交流促進

【イベント開催理由】

新型コロナウイルスの影響によるオンライン授業で、なかなか日本人や他の留学生と話す機会がなかったから。また、毎年行っているウェルカムパーティーが春、秋ともに中止となったため。



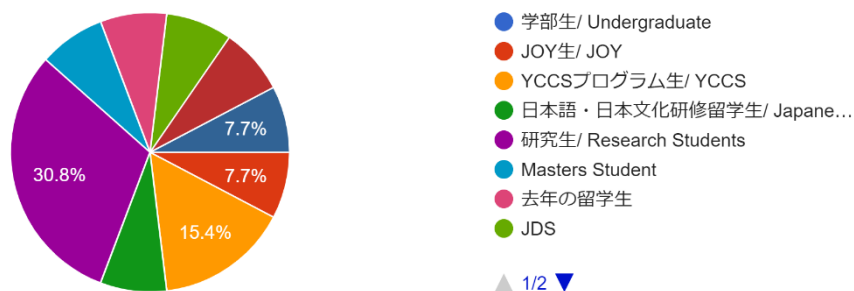




【参加留学生アンケート集計結果】

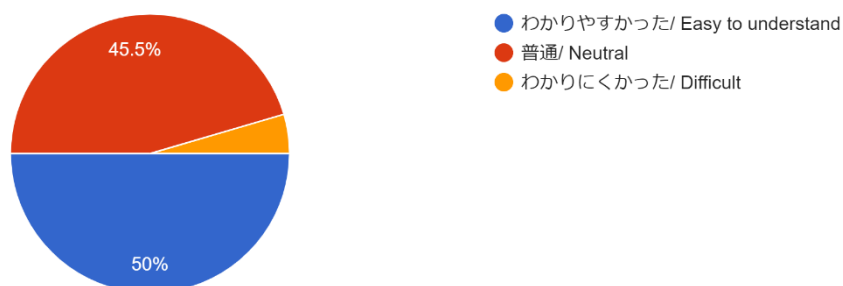
留学生の方にお聞きします。あなたはどれに当てはまりますか？ Please choose one from the following which apply to you.

13 responses



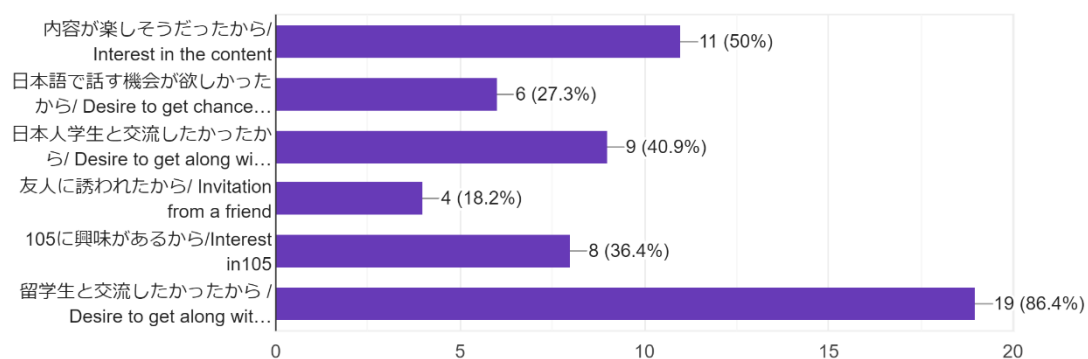
日本語について(ゲームの説明・聞き取りやすさなど) Please rate our Japanese explanation.

22 responses



参加しようと思った理由を全てお選びください。 What brings you to this event? Please choose all applicable answer.

22 responses



【参加留学生からのコメント】

- Thank you so much for all your hard work! It was very enjoyable! Today's games were really good! Hope to take part in more events!
- I am so glad to join this welcome party. Thank you so much.
- ありがとうございます。It was very interesting.
- English explanation needs to be a bit easier to understand.
- I really enjoy talking with hosts. They are very accommodating and welcoming in the break-out session.
- I enjoyed the event. Thank you!
- 誘っていただきありがとうございました！
- 初めて参加させてもらったけど楽しかった！！次のイベントを楽しみにしています！！
- Thank you for hosting today.
- I really like it overall! But I think in the next event, you guys could add questions like “Will you be able to turn on your camera?” and so on, because there are participants who might not be able to do so. I love the game contents, it is engaging and interesting! I'm anticipating for next event from 105. ありがとうございました。

【105 スタッフの意見】

- 当日来られなくなった人が多かったため、メールを通じてリマインドをもっとするべきだった。(T. Yoshimura)
- 開催時間は海外ともよく対応していた。(K. Matsushita)
- ブレイクアウトルームの、「全体戻ります予告」を120秒設定にした方が話を途中のままでなく切り上げることができるため、そうするべきだと思った。(T. Fukabori)
- 日本語で説明するとしても、わかりやすい日本語を使えるように「やさしい日本語」のようなものを105全体で共有しておいたほうが良いと思った。(M. Yoshikawa)
- 個人的に呼んでほしい名前にしてもらった方が、ブレイクアウトルームの時に進めやすい。(そしてその名前を話したい言語で書くようにすると、ブレイクアウトルームになったときにスムーズに話し始められると思った)→日本語英語どちらがよいかなど。(M. Asahara)
- もし可能なら、留学生同士で連絡先を交換する時間を設けても良いのではと思った。(K. Takemura)
- ピクトセンス、ジェスチャーゲームは、日本文化の問題が留学生には難しかったかもしれない。(K. Katagiri)
- 途中から参加する留学生が結構いて、部屋を分ける人の負担になるので、早めに参加してもらうようにリマインドするべきだと感じた。(Y. Sugano)

オンラインイベント Online Christmas Party 開催報告

文責: T. Yoshimura



日時: 2020年12月22日 20時00分~22時00分

場所: Zoom

参加人数: 22名(留学生 12名、一般学生 10名)

【当日までのスケジュール】

12月22日 19時00分~20時00分 スタッフミーティング

【当日スケジュール】

20:00-20:10 イベントの流れおよび105団体の説明

20:10-20:40 イントロクイズ

20:45-21:45 ビンゴ大会

21:45-22:00 閉会の言葉

参加留学生出身国一覧			
1	ドイツ	7	フィリピン
2	中国	8	中国
3	中国	9	中国
4	中国	10	アフガニスタン
5	フィリピン	11	シンガポール
6	中国		

計 11 名 ※出身国不明 1 名

105 スタッフ		
Tomomichi Yoshimura	Riho Funaiwa	Yuka Sugano
Minami Asahara	Yuichiro Yokono	Takara Fukabori
Nurul Ain Hamizah binti Hasmi	Mayu Yoshikawa	Rei Tanabe
Yusuke Isogai		

計 10 名

【イベントの目的】

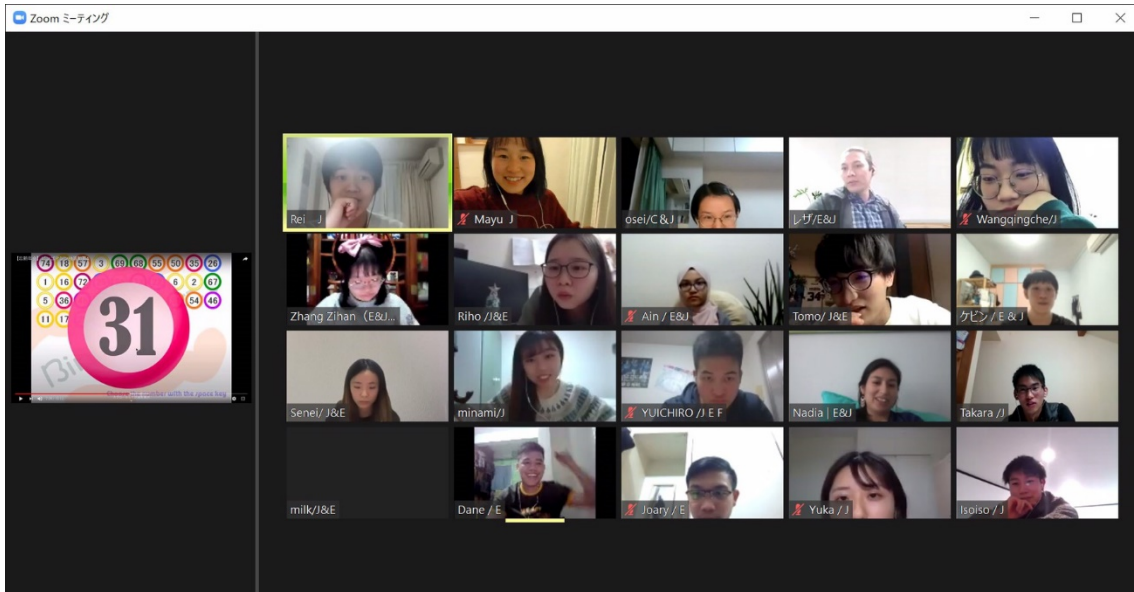
留学生の日本人や他の留学生との交流促進

【イベント開催理由】

前回開催したオンラインウェルカムパーティーのフィードバックを踏まえ、交流機会は留学生にとって貴重なものであり、日本での学生生活をより楽しんでもらいたいと考えたため。今回はクリスマスの時期だったため、クリスマスにちなんだ BINGO やイントロクイズなどを行った。

【前回のイベントの反省より】

今回のイベントより、事前に参加者に対して日本語と英語、どちらが話しやすいかのアンケートを実施し、当日ブレイクアウトルームを作成する際に活かした。

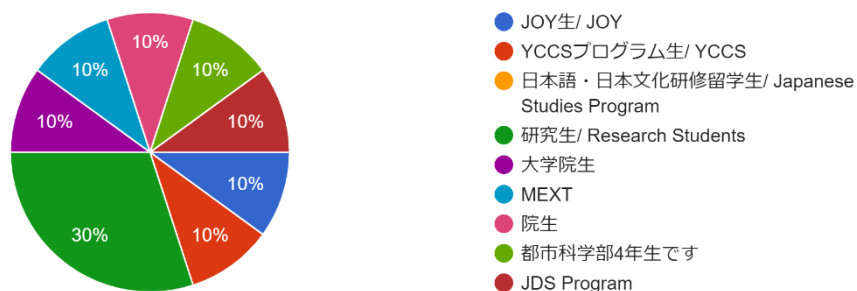




【参加留学生アンケート集計結果】

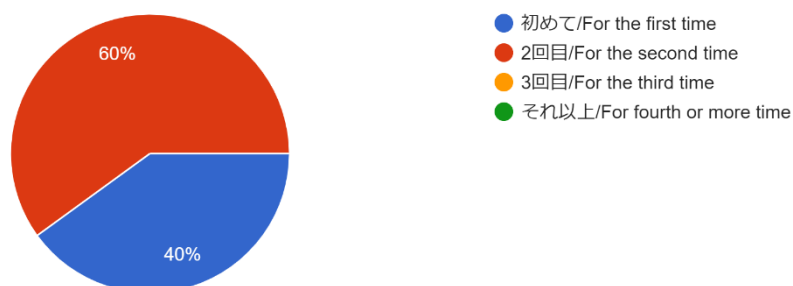
留学生の方にお聞きします。あなたはどれに当てはまりますか？ Please choose one from the following which applies to you.

10 responses



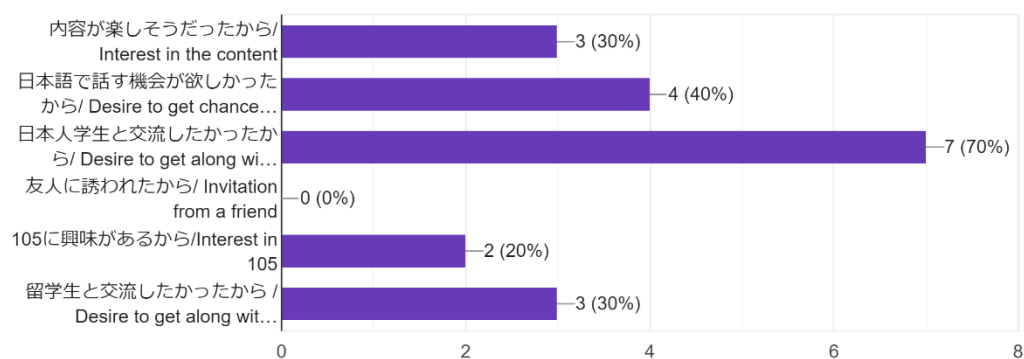
105のイベントへの参加は何回目ですか？ /How many times have you been to our event?

10 responses



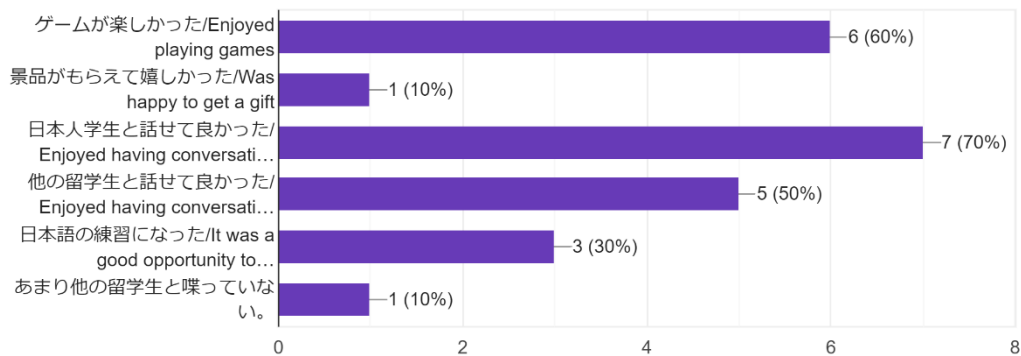
参加しようと思った理由を全てお選びください。 What brought you to this event? Please choose all applicable answers.

10 responses



イベントの感想で当てはまるものすべてを選んでください/ Please choose all applicable ones what you thought about this event.

10 responses



【参加留学生からのコメント】

- ・ 楽しかったです。ありがとうございます。
- ・ It was fun.
- ・ より多いコミュニケーションの機会がほしいです。
- ・ 日本語でもっと話せるゲームがあればいいなと思います。
- ・ 少人数でブレイクアウトルームで会話するのが楽しいと思います。ただ他の留学生や日本人学生とあまり会話がない。ビンゴする時、大人数でのズームでは会話に入り込むのが難しいと感じます。イベントを計画してくれてありがとうございます。

【105 スタッフの意見】

- ・ 普段なかなか部屋を分けず全体で活動することがないため、新鮮だった。また、参加している全員の留学生たちが楽しんでくれている状況を見られるのもよかった。(T. Yoshimura)
- ・ ポスターに入れるべき注意事項を SNS チームに回した方がよい。(K. Matsushita)
- ・ ゲームをやるときは例があった方が一問目からスムーズに入れるかも。(T. Fukabori)
- ・ 司会者と zoom の共有者を別にすると、参加者の顔が見えた状態で話すことができるので、良いと思った。(M. Asahara)
- ・ 留学生は日本の曲の方が意外と知っていたりするのかなと思った。(M. Miyama)
- ・ LINE グループを作ったことで写真やアンケートを送りやすくなって良かった！(Y. Sugano)
- ・ ゆとりをもって自己紹介後のトークの時間をとっておけたら、仲良くなれるし後のコンテンツも進めやすいかなと思った。(中国の方達はしゃべりたそうだった。)(M.Yoshikawa)
- ・ 名前の後に話せる言語を入れることでブレイクアウトルームは分けやすかった。(R. Tanabe)

今後に向けての活動案、目標

文責 R. Funaiwa

今年度は新型コロナウイルスが蔓延したことによって対面で留学生とかかわる機会はなくなり、105の活動方針を見直さなければいけなくなりました。早く終息してほしいという願望もむなしく、現在も新型コロナウイルスは猛威をふるい続けています。来学期以降、留学生は無事来日できるのか、そして105としてどのような活動ができるのかは不透明です。したがって、今学期行ってきた活動を改善し、いかなる変化にもすぐ対応できるように準備し、来学期も留学生支援に努めていきます。

【各チーム長からの活動案】

- ・ 日本に來られていない留学生もいるため、オンラインのイベントを継続したい。(室長 M. Katsumata)
- ・ 従来行っていた対面のイベントを開催することは難しいと思うが、オンラインのイベントでも多数の留学生と交流することができたので、来年度もオンラインのイベントを中心に活動していきたい。また、より多くの留学生を集められるようにしたい。(副室長 R. Funaiwa)
- ・ チーム内での信頼関係を深め、自由に発言しやすい雰囲気を作る。その上でメンバーがやりたいことを見つけ、主体的に動いてもらう形にしたい。Slackというアプリでスタッフ同士が連絡を取りあっており、スタッフがお互いのいいところを投稿する「いいところ box」というページを作った。その「いいところ box」に常にお互いのことが投稿されているとよいと思う。また、チーム間・スタッフ同士の交流の場を設けたい。留学生からの声をもっと集めたい。(うらかたチーム長 Y. Hara)
- ・ 来年は可能な範囲で対面のイベントを開催したい。(SNS チーム長 H. Asada)
- ・ 校正チームでは、投稿の英訳や校正を行った。留学生からすると、105の投稿が英語と日本語でなされていることはとても良いことだと思う。メンバーの人数次第で、これからも校正チームを続けていきたい。(校正チーム長 A. Nurul)
- ・ 今までも仲良しチームがやってくれていたと思うが、対面で何かツアーなどがやれたらよいと思う。また、授業等でなく同年代の105のメンバーと話す機会はZoomでもよいからもっとあってもよいと思う。(動画作成チーム長 R. Hirakawa)
- ・ 直接交流はできなかったが、オンラインでのイベント開催は比較的容易だった。そのうえ、イベントの定期開催もできた。来年度もオンラインでの活動が続くそうだから、この一年のノウハウを新2年生に受け継いで、是非積極的に活動してほしい。前にインスタライブをした時に、日本語を聞けることだけでもありがたい・勉強になる、と言ってくれる留学生がいたので、

もっと簡単なイベントを頻度を高くして行っていきたい(ex ランチタイムにズーム・インスタライブ)。留学生の数は減少の一途だけど、その分一人一人にコミットできるのではないか。個々の繋がりを大切にしたい。(オンラインミニイベントチーム長 T. Yoshimura)

【留学生支援にかかる大学への提言】

- ・ 新しく入学してきた留学生は、当団体をあまり知らないのではないかと考えた。学部生や院生、研究生などにも 105 を知ってもらうきっかけが必要だと考えた。(副室長 R. Funaiwa)
- ・ 留学生の支援をする際に 105 のインスタグラムだと認知度が 100%ではなく、声を拾う&届けることが難しいので、大学がその架け橋になるような仕組みが欲しい。(うらかたチーム長 Y. Hara)